

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	岡山県地域住宅等整備計画
② 都道府県名	岡山県
③ 計画作成主体	岡山県
④ 計画期間	令和３年度 ～ 令和７年度
⑤ 計画の目標	「誰もが明るい笑顔で暮らせる住生活の実現」を目指す。
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	岡山県において評価を実施（令和８年７月）
⑦ 事後評価の結果	指標①：「バリアフリー化した県営住宅の割合」 定 義：バリアフリー化（高齢者・障害者対応）した県営住宅の割合 評価方法：事業実績による 結 果：従前値：16.0%（令和３年度）⇒目標値：16.2%（令和７年度） ⇒実績値：16.2%（1,088戸／6,731戸）（令和７年度末） 結果の分析：目標達成 指標②：「県営住宅の長寿命化の実施割合」 定 義：県営住宅の長寿命化のための電源改修工事を実施したものの割合 評価方法：事業実績による 結 果：従前値：95.8%（令和３年度）⇒目標値：100%（令和７年度） ⇒実績値：100%（955戸／955戸）（令和７年度末） 結果の分析：目標達成 指標③：「中層耐火県営住宅の長寿命化の実施割合」 定 義：建設後３０年以上経過した中層耐火構造の県営住宅のうち、長寿命化のためのストック総合改善事業を実施したものの割合 評価方法：事業実績による 結 果：従前値：87.8%（令和３年度）⇒目標値：89.9%（令和７年度） ⇒実績値：85.0%（3,751戸／4,411戸）（令和７年度末） 結果の分析：財源の関係及び交付金の内示率が低下したことにより、事業実施を先延ばししたものがあため、目標を下回った。
⑧ 結果の公表方法	岡山県ホームページで公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	今後のストック総合改善事業については、平成２９年度に策定した岡山県営住宅長寿命化計画（令和８年度に改訂予定）及び令和３年度に策定した岡山県住生活基本計画（令和８年度に改訂予定）に基づいて行う。 今回達成できなかった指標目標については、次期整備計画において引き続き取り組むこととしており、目標を達成できるよう、引き続き効率的な予算執行や適切な事業の進行管理を実施する。
⑩ その他	特になし

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。